



～訓子府町まちづくり推進会議条例に基づく～

第6回まちづくり推進会議

令和3年
8月30日発行

日 時：令和3年7月29日（木）19:00～20:45 場 所：公民館講堂
出席者：委員20名 事務局5名 説明員3名

◆まちづくり推進会議が新たな委員に委嘱

令和元年7月23日第1回まちづくり推進会議にて委嘱した1期目委員の任期が終え、第6回会議の冒頭に菊池町長より2期目委員に委嘱状の交付及び挨拶を行いました。



◆委員名簿

2期目委員は下表の24名の皆さんです。なお、任期は令和5年3月までとなります。

(敬称略)

職 名	氏 名
町内会連絡協議会会長	西 和彦
実践会連絡協議会会長	平田 康弘
きたみらい農業協同組合南地域運営委員会委員長	小野 洋一
商工会会長	久島 正之
きたみらい農業協同組合女性部訓子府支部支部長	今野 浩美
商工会女性部部长	余湖 裕美子
4Hクラブ会長	細川 琢末
きたみらい農業協同組合青年部南支部支部長	林 慎也
きたみらい農業協同組合フレッシュミズ南支部支部長	林 みお
商工会青年部部长	佐野 裕章
訓子府町文化連盟副会長	井幡 美智子
社会福祉協議会会長	上野 敏夫
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構農業研究本部 北見農業試験場場長	梶山 努
北見信用金庫訓子府支店 支店長	杉本 明義
訓子府福社会 静寿園施設長	佐藤 正好
民生委員児童委員協議会会長	上杉 守
ほっとなまちをつくり隊代表	佐藤 直子
若がえり学級自治会副会長	武藤 充人
小中学校長会会長	大友 信也
認定こども園育友会会長	広部 ひかり
居武士小学校後援会会長	日當 由佳
訓子府中学校 PTA 副会長	奥原 寛子
公募委員	細川 久美
//	森下 恵子



協議事項

◆まちづくり推進会議について

町民主体のまちづくりの実現に向けて、本町が目指す町民参加のかたちやまちづくり推進会議の概要や今後の進め方について、事務局より説明を行いました。

◆今後の訓子府町に求められる住宅施策について

町の人口・世帯数の動向及び住宅施策の現状について説明し、今後10年間本町に求められる住宅の方向性を決めるためにWG（ワーキンググループ）を実施し、各グループで集まった意見を説明員が発表しました。

○ディスカッション内容に伴う主な意見等

A グループ：高齢者の住宅施策について

- A 委員：ほとんどが高齢者世帯で、子どものいる世帯に移ることが多くなっている。
- B 委員：身内を頼りに北海道に移住し、冬が大変だと思っていたが、来て本当に良かった。
若い人は都会が良いと思うかもしれないが、この規模の町が良い。
- C 委員：介護付きケアハウスがあれば。
- B 委員：孤独死が出ていることが問題だ。
- B 委員：実践会にいる高齢者は町に出てきたいのではないか。
- D 委員：在宅の介護サービスが充実していけば良いのでは。
- E 委員：町内会で実施した、住宅に関するアンケートによると、最後まで自分の住宅が良いという意見が多く、そのうち子どもものところに行けたらという結果だった。

B グループ：若者・子育て世帯の住宅施策について

- F 委員：町営住宅に空きがないため、農業後継者が入居できない。
- F 委員：農業者は結婚すると、賃貸が無いので、やはり新築してしまう。
- F 委員：親世代が農業を引退すると、家を出て後継者がその住宅に住むケースが増えてきている。
- G 委員：結婚して北見から通勤する人が多くなっている。
- H 委員：子育てしやすい町なのに、住む家がないため移住できないという話がある。
- H 委員：高齢化に伴い、広い住宅を持て余すようになってきたため、広い家を必要とする人と必要としない人とのマッチングができれば。
- I 委員：空き家バンクで賃貸の募集がないといきなり移住するにはハードルが高いのでは。
- J 委員：町内で持ち家だと将来持て余しそうで不安だ。

C グループ：移住定住のための住宅施策について

- K 委員：空き家バンクに登録されている物件はどのように探せるか。HPを見ても2件ほどしか出てこない。また、価格表示がされていないが、個人交渉なのか。
- L 委員：空き家バンクの補助金は変わらず出すとしても、不動産事業者を間に入れてはどうか。
- M 委員：空き家には賃貸としての需要が高いと思われるので、掘り起こしや調査が必要。
- N 委員：空き家バンクがもっと機能することが必要。